



## カマキリの前足はどんな役目をしているの

### 前足は「かま」

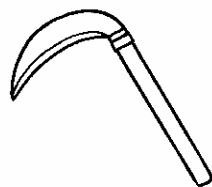
カマキリの前足は、太くて長く、人間がイネや草をかるのに使う「かま」のようになっています。この大きな前足は、いつもは折りたたんでいます。

カマキリは、動くものしか食べません。獲物が、体の正面の近くにくるまで待ちます。十分近くまできたら、折りたたまれた前足をさっとのばし、獲物をはさみます。えさをとらえるのは、50分の1秒の早わざです。人間の目では、そのしゅん間を見ることはできません。この前足には「とげ」が生えていますので、はさまれてしまった虫は、もう動けません。

カマキリの名前は、この「かま」のような前足をもっていることからきています。カマキリの前足は、えさを取るときに使います。このような足を、「捕捉肢」といいます。歩くときは中足と後ろ足を使います。

### 首がよくまわる

カマキリは、頭が三角形で大きな目があります。首がよくまわり、広い範囲を見わたせます。動いている虫を見つけると、そろりとその方向に体を向けます。カマキリは、生きたこん虫しか食べません。木や草の上でじっと、獲物を待つやり方で、獲物を追いかけてまわすようなことはないのです。大きなかむ口をもっています。（監修・中山 周平）



イネかりに使うかま

